

# オープンデータリーダー養成研修について

---

# 1. オープンデータリーダー育成研修の概要

- ・ 想定受講人数 : 総計500名程度
  - ・ 開催地 : 各総合通信局管轄内で各々1~2回
- 研修回数 15回 × 1回あたり受講人数 35名 = 525名 (想定)

総通局 (開催回数:計15)	開催地 (都道府県)	参加想定人数 (計:525名)
北海道 (2)	北海道	70名程度
東北 (1)	青森県	35名程度
関東 (2)	栃木県、茨城県	70名程度
信越 (1)	新潟県	35名程度
北陸 (1)	富山県	35名程度
東海 (1)	愛知県	35名程度
近畿 (1)	京都府	35名程度
中国 (2)	広島県、島根県	70名程度
四国 (1)	徳島県	35名程度
九州 (2)	宮崎県、熊本県	70名程度
沖縄 (1)	沖縄県	35名程度

## 2. オープンデータリーダー育成研修のタイムスケジュール（予定）

開始時間	配分	内容
10:00	5	挨拶 研修プログラム説明
10:05	30	1. オープンデータの意義
10:35	15	2. 都道府県の官民データ活用推進計画
10:50	15	3. 近隣取組済み団体の取組みについて
11:05	15	～休憩～
11:20	40	4. 実習
12:00	60	昼休み
13:00	45	5. 実務講習（始める、調べる）
13:45	10	～休憩～
13:55	45	5. 実務講習（公開する、利用する）
14:40	10	～休憩～
14:50	75	6. ワークショップ（ミニアイデアソン）
16:05	10	～休憩～
16:15	15	7. オープンデータ化支援研修の進め方
16:30	30	8. テストとアンケート
17:00 (終了)	420	

# 3. オープンデータリーダー育成研修のプログラム詳細

## 1. オープンデータの意義 (30分)

- オープンデータ概要  
オープンデータの定義、日本政府がオープンデータに取り組む目的を知ることで、オープンデータに取り組む意義について理解します。
- オープンデータの歴史  
EUのPSI指令からアメリカの取組み、G8のオープンデータ憲章など、これまでのオープンデータの動向を知ることで、オープンデータの背景を理解します。
- 活用事例の紹介  
国内外のオープンデータの活用事例を紹介する事で、オープンデータに取り組む意義について具体的なイメージを描けるようになります。

## 2. 都道府県の官民データ活用推進計画 (15分)

- 国の官デ法への対応、計画策定の手引き等より、都道府県、市町村に求められる対応についての概要と、各都道府県の計画について、取組み状況、今後の方針についてご紹介頂きます。官デ法関連で対応すべき事を学びます。
- 官デ法概要
  - 都道府県の取組み状況

## 3. 近隣取組済み団体の取組みについて (15分)

- 近隣自治体で実際にオープンデータの取組みを始めた人に実体験を話してもらいます。身近な事例を聞く事で取り組む時のイメージをつかみます。  
(話してもらうテーマ例)
- データ棚卸の事例紹介
  - 庁内横断組織の立ち上げ事例紹介

### 3. オープンデータリーダー育成研修のプログラム詳細

#### 4. 実習（40分）

- サイト公開の手段  
オープンデータ公開のために必要な手段(データカタログサイト、CMSの拡張など)を学びます。
- CKAN概要  
標準的なデータカタログサイトであるCKANの概要を学びます。データセット、リソース、メタデータ、組織、グループなどCKANの要素について理解します。
- データの登録  
実際にデモ環境にオープンデータを登録する事で、オープンデータの公開について体験します。
- データのビジュアライズ  
登録したデータを地図にマップする事で、オープンデータの活用についてイメージをつかみます。
- CKAN APIの紹介  
サイト運用を効率化するためのCKAN APIによるデータの登録等のPythonコードを紹介します。



昨年度実施した試行研修の実習風景

### 3. オープンデータリーダー育成研修のプログラム詳細

#### 5. 実務講習（始める、調べる）（45分）

- 研修参加者が自治体に戻って実施可能な内容を、4つのフェーズに分けて解説します
- Webコンテンツの利用方法についても解説します

##### ① 計画立案（始める）

- トップ（上司）の理解を得る  
オープンデータの活用事例や、オープンデータに取り組む事による自治体のメリットを学ぶことで、オープンデータに取り組むための企画立案ができるようになります。
- 職員の理解を深める  
職員研修の実施方法、オープンデータ通信の発行など、先行自治体の取組みを知ることで、オープンデータの職員の理解を深める手法を学びます。
- オープンデータ取組みの指針&ガイドライン  
先行自治体のための作成したオープンデータの取組み指針やガイドラインを紹介することで、指針作成の参考にします。

##### ② 環境整備（調べる）

- オープンデータに取り組む体制について  
庁内横断型組織の立ち上げや、都市圏の取組み事例紹介など、先行自治体の取組みのパターンをいくつか紹介することで、オープンデータに取り組む体制を検討できるようになります。
- 最初に取り組むデータについて  
内閣官房推奨データセットや、先行自治体がすでに公開しているオープンデータを紹介することで、最初に取り組むやすいデータセットについて学びます。
- データの棚卸について  
データ棚卸の事例手法を知る事で、どの課にどのようなデータがあるか、また原課の協力を得るにはどうしたら良いかを学びます。

### 3. オープンデータリーダー育成研修のプログラム詳細

#### 5. 実務講習（公開する、利用する）（45分）

- 研修参加者が自治体に戻って実施可能な内容を、4つのフェーズに分けて解説します
- Webコンテンツの利用方法についても解説します

##### ③ データ公開（公開する）

- 利用規約の策定方法  
オープンデータを公開したことによって起こりうる問題を理解し、利用規約を策定できるようになります。
- ライセンスについて  
Creative Commons、Public Domain、政府標準利用規約など、オープンデータのライセンスについて学び、利用規約で適用するライセンスを選択できるようになります。
- ファイルのフォーマットについて  
オープンデータの5つ星と、各星の段階での利用者のメリット、星を上げる時の作業負荷について理解し、取組み段階に応じたファイルフォーマットが選択できるようになります。

##### ④ データ活用（利用する）

- オープンデータの活用事例  
身近な活用事例を紹介することで、オープンデータの活用のイメージを掴みます。
- 利用者ニーズの把握  
Webサイトのアクセスログ、官民ラウンドテーブルの開催、過去のアンケート結果など、利用ニーズの把握方法について学びます。
- 活用事例創出のための活動  
アイデアソン、ハッカソン、コンテスト開催など、活用事例創出のための手法について学びます。

### 3. オープンデータリーダー育成研修のプログラム詳細

#### 6. ワークショップ（ミニアイデアソン）（75分）

- ワークショップの開催スキルを身に着けるために、ミニアイデアソンを体験します。
- テーマは「上司、首長を説得するには」「原課に協力してもらうためには」のどちらかを選択してもらい、1チーム当たり4名～6名で、全体5チーム程度を想定しています。
- ワークショップの進め方
  - ① 自己紹介（アイスブレイク） 15分  
アイスブレイクの手法をいくつか紹介します  
その内の一つを体験する事でアイスブレイク
  - ② アイデア出し（個人ワーク） 10分  
マンダラート、マインドマップ、アイデアスケッチなどから一つ選択しアイデア出しを行います。
  - ③ アイデア出し（グループワーク） 20分  
グループに分かれて、ディスカッションしてもらいます。
  - ④ 発表と評価 30分  
各チームから話し合った内容を発表してもらいます。

#### 7. オープンデータ化支援研修の進め方（15分）

- 職場に戻って庁内でオープンデータ推進のための研修を実施する方法について習得します。

## 3. オープンデータリーダー育成研修のプログラム詳細

### 8. テストとアンケート（30分）

- 研修の講義内容の理解度と、実務ノウハウの習得度を確認するためにテストを実施します。
- テストは合格判定が出るまで繰り返し受けてもらいます。
- 最後に、研修全体に対するアンケートを実施します。

## 4. オープンデータリーダー育成研修のコンテンツの公開

本研修のコンテンツは、研修参加者が研修受講後でもいつでも閲覧できるようにWeb上で公開します。また、研修参加者が困った時に参照する逆引きインデックスも用意します。

- Web上の研修コンテンツは以下を予定しています。

### 始める

- オープンデータの概要
- オープンデータの歴史
- 活用事例（国内、海外）
- 電子行政オープンデータ戦略の概要
- 官民データ活用推進基本法の概要
- オープンデータ伝道師の紹介
- 地域情報化アドバイザーの紹介

### 調べる

- 庁内横断組織の立ち上げ事例紹介
- データ棚卸の事例&手法を紹介
- オープンデータに取り組む事による自治体のメリット
- 他の自治体がすでに公開しているオープンデータの調査法
- 先行自治体の指針&ガイドラインをまとめて紹介
- 内閣官房推奨データセットの紹介

- 官民ラウンドテーブルなどで民間ニーズを把握する手法
- オープンデータ事業実証の事例
- アイデアソン、ハッカソンを開催する手法
- コンテストの開催事例
- オープンデータ100
- オープンデータQ&A

### 公開する

- サイト公開の手段（CKAN、CMSなど）
- 利用規約の策定について
- ライセンスについて
- ファイルフォーマットについて
- データ加工のためのTips
- LOD入門
- CKAN入門
- CKAN操作
- データビジュアライズ
- API入門

### 利用する